「核兵器は違法」女性3人に免罪

英国 原潜施設破壊

【ロンドン22日=百瀬和元】「核兵器は国際法上、違法である。これを無くそうという行動は犯罪を防ぐためのものだ」――こんな論理が通って、英国・スコットランドで二十一日、海軍基地に侵入して核搭載原子力潜水艦トライデントの施設の一部を破壊した反核運動の女性三人に対し、免罪を言い渡す法廷の決定があった。

三人は、一九八〇年代に盛んだった「核軍縮運動」（CND）に共鳴する反核運動家で、四十五―六十三歳。今年六月、グラスゴー西方にある海軍基地ファスレーンに忍び込み、トライデントの付属施設である「はしけ」の実験設備の一部を破壊して逮捕され、拘束されていた。

二十一日、スコットランドから報じられたところでは、地元のグリーノック治安判事裁判所で、弁護側は①一九九六年の国際司法裁判所（ICJ）の判断（勧告的意見）で、すべての核兵器は違法とされている②女性たちは基本的に罪を犯したが、それはこれを上回る犯罪を防ぐためだった③したがって、スコットランドの法で「免罪」されるべきだ――と主張した。

これに対して、ギムブレット判事(六〇)は弁護側の言い分を認めて放免を決定。「決定はこうした行動を繰り返していいという意味ではない」と諭しながらも、「この事件がきわめて特別な状況下にあった」と語って、トライデントの存在を「違法」と判断したことを強く示唆した。

英地裁

核兵器の違法性強調

施設侵入 反核活動家に

【ロンドン22日田中靖宏記者】スコットランド西部にある核ミサイル原潜の試験施設に侵入し艦艇に被害を与えたとして収監されていた三人の女性反核活動家にたいし、同地の裁判所は二十一日、違法な核兵器に反対する活動家の行為は正当との判断を示し、即時釈放を命じました。

三人に無罪を言い渡したのはグリノックの地方裁判所。陪審にたいする説明のなかでギンブレット判事は、一九九六年の国際司法裁判所の判決などをもとに核兵器の使用と威嚇の違法性を強調。核兵器の使用を中止させようとする三人の行為は正当化されるとのべました。

トライデント原潜に反対する三人はさる六月八日、近くのロックゴイル基地に係留されていたトライデント原潜の音波実験船に侵入、コンピューターを海に捨てるなどして拘束され起訴されました。

三人が参加する現地の反核組織「トライデント除去」運動は、核兵器の違法を訴えて裁判闘争にとりくんできました。ギンブレット判事は弁護側の主張をほぼ全面的にみとめ、

米の単独行動主義

英誌「国益第一」

【ロンドン22日田中靖宏記者】二十二日発売の英誌『エコノミスト』最新号は、米国が圧倒的なパワーを背景にして、国際舞台で一方的な行動を

赤旗 2002年2月13日

核ミサイル原潜に反対

基地ゲート前に座り込み

英スコットランド

【ロンドン11日田中靖宏】英海軍のトライデント核ミサイル原潜の母港であるスコットランド地方のファスレーン海軍基地前で十一日、核ミサイル原潜に反対する反核行動がおこなわれ、ゲート前の座り込みで多数の参加者が警察に逮捕されました。

スコットランド核軍縮運動（CND）と「トライデント撤去運動」が組織したもの。欧州各地からの参加者を含め五百人以上が参加しました。警察当局によると、逮捕されたのは八十三人で、スコットランド社会党のシェリダン・スコットランド議会議員らも含まれています。

「トライデント撤去運動」は「核兵器は戦闘員と一般人を区別しない。それを保有して使用の脅しをかけることはテロリズム同様、絶対に容認できない」と呼びかけました。

スコットランド教会会議のマクドナル師も「核兵器は道徳的にも神学上も許されない。保有は神への冒とくだ」と強調しました。

同基地は英海軍が持つ四隻のトライデント核ミサイル原潜の母港。撤去を求める反核行動は毎年、この時期におこなわれ、ことしで三回目。昨年は千人以上が参加して、四百人近くが逮捕されました。

「核使用の脅し テロと同じ」

講演する平和運動家のアンジー・ゼルターさん＝佐賀市のアバンセ

Trident Ploughshares

抑止力の安全保障ノー 英の運動家講演

核廃絶は市民行動で

市民による核廃絶をすすめるイギリスの平和運動家アンジー・ゼルターさんの講演会が十日、佐賀市のアバンセであり、アンジーさんは「地球規模の安全保障は核の抑止力ではなく、市民の平和的な行動でつくりあげよう」と訴えた。

講演会は佐賀大学理工学部の豊島耕一教授を世話人とする「アンジー・ゼルターさんを呼ぶ会」が主催、十五日まで全国九カ所で開いている。

この日の講演には約六十人が参加。アンジーさんは、仲間の運動家とイギリスのミサイル原潜関連施設をハンマーで壊して核廃絶を訴え、無罪判決を受けた経緯をスライドを使って説明。

「核抑止に依存するのは暴力を奨励することにつながる。市民の行動で核兵器を排除することは可能であり、それが世界全体の軍縮に貢献すると信じている」と話した。（丸田）